



伊万里市立大川小学校 学校だより16号

元気いっぱい

令和6年2月14日 文責 校長 羽田野修

絵手紙での交流が広がっています

9月に大川町の「子ども本立塾」の取り組みとして行われた「絵手紙教室」で子どもたちの指導をしていただいた「大川町絵手紙愛好会」のみなさんから、6年生の子どもたちに絵手紙が届けられました。これは、6年生が絵手紙教室のみなさんに送った年賀状のお礼としていただいたもので、6年生への励ましの言葉も添えられています。6年生の年賀状は、大川野駅に飾られているそうです。絵手紙がきっかけで広まった地域の方との交流うれしいですね。



1年生の教室に鬼が来た！



2月3日の節分を前に、2日（金）の2時間目に1年生の教室に鬼が現れました。突然？の鬼の出現に子供たちは豆をまいて追い出しました。怖かった鬼も、面をはずすと、用務員の先生と支援員の先生でした。実は優しい鬼さんたちと最後に記念写真を撮りました。とても、楽しい豆まきでした。



2人の鬼が出現！



子供たちは豆で反撃！



本当は優しい鬼さんでした

能登半島地震の募金活動

1月1日の能登半島地震では、多くの方が亡くなり、未だに多くの方が避難生活を続けています。このような、能登半島の人たちの力になろうと、ボランティア委員会の呼びかけで募金活動を行いました。多くの皆さんに協力をいただき、18,930円の募金が集まりました。募金は社会福祉協議会から日本赤十字を通じて能登半島の人たちのために使っていただきます。



大川小学校の情報はホームページでもご覧いただけます

<https://www.education.saga.jp/hp/okawa-e/>



ノーチャイムを実施しています



R7年度の義務教育学校の開校に向けて、大川小学校では2月から「ノーチャイム」を始めました。

義務教育学校では、中学校にあたる学年と小学校にあたる学年とで授業時間が違うため、授業の始まりと終わりのチャイムを鳴らさない「ノーチャイム」を実施している学校が多いようです。また、子どもたちの時間に対する意識を高めるために、義務教育学校以外の学校でも「ノーチャイム」を実施する学校が、最近は増えているようです。

新しい義務教育学校の校時は今、検討中ですが、もし、「ノーチャイム」を実施することになれば、早めに慣れておくことが子どもたちの安心につながるため、本校でも「ノーチャイム」の取り組みを今年から始めることになりました。まだ、時計を上手に見ることができない低学年などについては、十分なサポートをしながら行っていきたいと思います。

バレーボール巡回教室

2月8日（木）に、バレーボール巡回教室が開催されました。当日は、久光スプリングスから元日本代表の新鍋理沙さんをはじめ、3名の方に来ていただきました。まず、新鍋さんよりお話をいただき「夢を持つこと」「人との出会いを大切にすること」の大切さを教えていただきました。その後、学年ごとにレシーブやトスのやり方などを教えていただきました。



みんなで記念写真

登校班で安全登校を



大川小は、毎日、登校班で登校してします。上級生が班長になり、毎朝みんないっしょに並んで登校しています。登校班は基本的に子どもたちの安全な登校を目的に行われているものですが、登校班で登校することで、「規則正しい生活が身につく」や「学年の枠を超えて交流ができる」などのメリットもあります。地域や保護者の方には、いつも登校班の子どもたちを見守っていただきありがとうございます。

3月4日（月）の地区児童会で来年度の登校班が決まり、次の日から新しい登校班で登校します。新入生については、上級生が登校班について書いた手紙を新入生のお家まで持って行く予定です。大川小の通学路には人の少ない場所や交通量の多い場所などがあります。学校では、子どもたちの安全登校のために、保護者のみなさまのご理解とご協力をいただきながら、今後も登校班での登校を行っていきたいと思います。

○学校では登校班での登校について子どもたちに次のような話をしています

- ・1列に並んで歩きましょう
- ・道路を横断するときには、安全を確認してから渡りましょう
- ・ふざけて歩いたり、車道に飛び出したりしないようにしましょう
- ・地域の方に元気なあいさつをしましょう
- ・事情があって登校班での登校ができないときには、登校班の友達に連絡しましょう

